

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

(第 5 号)

1 平成6年9月28日(水曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 24名

1番 秋山 光章	2番 増田 基彦
3番 島田 保	4番 斉藤 実
5番 宮沢 治海	6番 植木 馨
7番 鈴木 順子	8番 永井 龍平
9番 脇田 安保	10番 庄司二男
11番 山崎 雅己	12番 岩村 勝弘
13番 榎本 春光	14番 小宮 利夫
15番 山中金治郎	17番 鈴木 忠夫
18番 日下 君敏	19番 川名 正二
20番 生稻 陞	21番 神田 守隆
23番 石井 昌治	26番 辻田 実
27番 横溝 功	28番 飯田 義男

1 欠席議員 2名

16番 鈴木 勝美	22番 福原 勤
-----------	----------

1 出席説明員

市長 庄司 厚	助役 小幡 清之
収入役 川上 義雄	市長公室長 永野 修
総務部長 神子 純一	民生部長 渡辺 富雄
経済部長 小沼 晃	建設部長 三平 孝司
水道課長 谷貝 実	教育委員会 高橋 博夫
選挙管理委員会 加藤 利	選挙管理委員会 平嶋 倫治
委員長	事務局書記長
監査委員 山田 教和	農業委員会 斉藤 明
	会長

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一	事務局長補佐 鈴木 哲
------------	-------------

書 記 四ノ宮 朗

書 記 安田 仁一

書 記 小山 真

書 記 松浮 郁夏

1 議事日程（第5号）

平成6年9月28日午前10時開議

- 日程第1 { 議案第36号 工事請負契約の締結について
議案第37号 平成6年度館山市一般会計補正予算（第1号）
- 日程第2 { 議案第32号 館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する
条例の一部を改正する条例の制定について
議案第33号 館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に
関する条例の一部を改正する条例の制定につい
て
議案第34号 館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する
条例の一部を改正する条例の制定について
議案第35号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例
の制定について
議案第38号 平成6年度館山市国民健康保険特別会計補正予
算（第2号）
- 日程第3 議案第39号 平成6年度館山市下水道事業特別会計補正予算
（第1号）
- 日程第4 請願第20号 老人医療の入院給食助成に関する請願書
- 日程第5 継続審査について
- 日程第6 { 認定第 1号 平成5年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定
について
認定第 2号 平成5年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳
出決算の認定について
認定第 3号 平成5年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決
算の認定について
認定第 4号 平成5年度館山市ユースホステル特別会計歳入
歳出決算の認定について

認定第 5号 平成5年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第 6号 平成5年度館山市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第 7号 平成5年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について

認定第 8号 平成5年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について

日程第7 議案第40号 人権擁護委員候補者の推薦について

開 議 午前10時10分

◎議長（辻田 実君） 本日の出席議員数24名、これより第3回市議会定例会第5日目の会議を開きます。

議案の配付

◎議長（辻田 実君） 議案を配付いたします。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。 —

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第1、議案第36号及び議案第37号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各議案は、9月16日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長斉藤 実さん。御登壇願います。

(総務委員会委員長齊藤 実君登壇)

◎総務委員会委員長(齊藤 実君) ただいま議題となりました議案第36号及び議案第37号に係る総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月16日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、20日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

議案第36号工事請負契約の締結についてであります。委員から一般競争入札とした理由及び今後の見通しについての説明を求めたところ、競争性、公正性、透明性等を踏まえ、館山市建設工事等指名業者選定審査会において検討し、試行した。また、今後大きな工事については一般競争入札による方法を検討していきたいとの説明がありました。

一般競争入札についてはより公正な入札方法と言われているが、反面、地元業者の育成という面で問題があるので、地元業者の育成に視点を置きながら、今後とも公正な入札に努められたい。また、指名競争入札の場合においても工事金額に応じた業者の選定を検討されたいとの要望がありました。

次に、議案第37号平成6年度館山市一般会計補正予算(第1号)についてであります。扶助費に関連して、介護を必要とする老人の個々のニーズに見合うサービスを提供するため、保健、福祉、医療の連携について説明を求めたところ、高齢者の多様なニーズに対応するため、高齢者サービス調整チームを設置し、チームの委員が必要に応じてその対策の打合せ会を開いている。また、ホームヘルプサービスについても保健課との連携を保ちながら実施しているところであるとの説明がありました。

老人福祉の問題は市政の重要な課題であるので、今後とも一層の努力をされるようとの要望がありました。

次に、ウエルネスリゾートパーク計画の見通し等について質疑がありました。今回計上した複合リゾートカントリー整備計画調査については、議決後できれば10月に発注する。その中で、国、県、有識者による策定委員会が設置され、今年度末までに計画の策定がされたいと考えている。なお、用地の取

得については、本年8月末現在で約43%を買収しており、目標として平成9年度までに取得を完了したいとの回答がありました。

また、多目的運動広場整地等工事請負費が計上されているが、供用開始については平成7年3月ごろを予定しているとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第36号及び議案第37号については、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑はございませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はございませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第2、議案第32号乃至議案第35号及び議案第38

号の各議案を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各議案は、9月16日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長宮沢治海さん。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長宮沢治海君登壇）

◎文教民生委員会委員長（宮沢治海君） ただいま議題となりました議案第32号乃至議案第35号及び議案第38号に係る文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月16日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、20日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

議案第32号館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。利用時間の延長及び利用料金についての質疑に対し、夜間の時間延長については、施設が住居地域の中であるため、供用開始後、利用状況を見た中で検討していきたい。また、利用料金については、市民が社会教育活動のために使用する場合は無料となり、目的によっては使用を許可しないこともあるので、ほとんどが減免の対象になると考えられる。また、減免の認定基準は、従来のコミュニティセンター、公民館等と同様の扱いとなると考えているとの回答がありました。

また、管理体制について、昼間、夜間に臨時職員を各1名配置し、管理するとの説明がありました。

次に、議案第33号館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第34号館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。今回の改正については市町村に義務を課せられたものではないのか

との質疑に対し、義務は課せられていないとの回答がありました。

次に、議案第35号館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてであります。出産育児一時金についての質疑に対し、国民健康保険法の改正に基づき名称を変更するもので、内容はほとんど変わらない。なお、30万円という金額は各市統一された数字であるとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第32号乃至議案第35号及び議案第38号については、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑はありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第32号について採決いたします。

本案についての委員長報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

続いて、議案第33号館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に関する

条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第34号館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について、一括して起立により採決いたします。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

◎議長(辻田 実君) 起立多数であります。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

続いて、議案第35号及び議案第38号の各議案について、一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(辻田 実君) 日程第3、議案第39号平成6年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)を議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長(辻田 実君) ただいま議題となりました議案第39号は、9月16日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長増田基彦さん。御登壇願います。

(建設経済委員会委員長増田基彦君登壇)

◎建設経済委員会委員長(増田基彦君) ただいま議題となりました議案第39号平成6年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)に係る建設経

済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月16日の本会議におきまして本委員会に付託されました本議案につきまして、19日委員会を招集し、審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、委託先である日本下水道事業団に対し、工事に際して地元の業者を優先するような要望はしてあるかとの問いに対しまして、処理場の建設工事は高度な技術を要するため、事業団に委託してある。地元の業者については、面整備工事の面で育成を図っていききたいとの回答がありました。

次に、事業団が入札を行う際に最低制限価格の設定があるかとの質疑に対し、最低制限価格については確認はしていないが、入札については事業団内部の規約に沿って実施されていると聞いているとの回答がありました。

また、委員から、余りに価格を抑えた結果、工事の水準までが下がることがないようにとの指摘がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第39号につきましては、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

請願書の上程

◎議長(辻田 実君) 日程第4、請願第20号老人医療の入院給食助成に関する請願書を議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長(辻田 実君) ただいま議題となりました請願第20号は、9月16日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより文教民生委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長宮沢治海さん。御登壇願います。

(文教民生委員会委員長宮沢治海君登壇)

◎文教民生委員会委員長(宮沢治海君) ただいま議題となりました請願第20号老人医療の入院給食助成に関する請願書に係る文教民生委員会における審査の概要について御報告申し上げます。

去る9月16日の本会議におきまして本委員会に付託されました本請願につきまして、20日招集された委員会において審査を行いました。

委員から、老人入院費に関しては、給食費として今以上の負担を課せられるということは納得できない。請願には東京都の例があるが、全国的にも県レベル、市町村レベルにおいて対応を考えているところもあると聞く。老人の負担をこれ以上ふやさないためにも本請願を採択したいとの賛成討論がありました。

採決の結果、本請願につきましては賛成少数により採択しないものと決しました。

以上御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

21番神田さん。

◎21番（神田守隆君） この問題について、文教民生委員会では賛成少数ということでありますけれども、賛成討論については報告がありましたけれども、反対についての意見ないしは討論はあったのかなかったのか。反対の理由がわかりませんので、その辺について委員長にお答えをお願いしたいと思います。

◎議長（辻田 実君） 5番宮沢さん。

◎文教民生委員会委員長（宮沢治海君） 20日の日に委員会を招集いたしまして、この請願につきまして審査をお願いしたわけですが、反対討論等はありませんで、賛成討論が1名あったのみでございます。賛成討論がありまして、反対討論はありませんでした。

◎議長（辻田 実君） 他にございませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

本請願についての委員長の報告は採択しないであります。

本請願を委員長の報告どおり採択しないことに賛成の諸君の起立を求めま

す。

(賛成者起立)

◎議長(辻田 実君) 起立多数であります。よって、本請願は採択しないことに決しました。

継続審査について

◎議長(辻田 実君) 日程第5、請願の継続審査についてお諮りいたします。

総務委員会に付託中の請願第18号消費税の税率引き上げ反対の意見書を求める請願書について、委員長から、会議規則第104条の規定により、閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。

本請願を委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、本請願は閉会中の継続審査とすることに決しました。

議長の報告

◎議長(辻田 実君) なお、この際申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の上程

◎議長(辻田 実君) 日程第6、認定第1号乃至認定第8号、平成5年度館山市一般会計及び特別会計決算を一括して議題といたします。

決算審査特別委員会委員長報告

◎議長(辻田 実君) ただいま議題となりました各会計決算は、9月19日の本会議において特別委員会を設置し、付託されたものであります。

よって、これより決算審査特別委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長飯田義男さん。御登壇願います。

(決算審査特別委員会委員長飯田義男君登壇)

◎決算審査特別委員会委員長(飯田義男君) ただいま議題となりました認定第1号乃至認定第8号、平成5年度館山市一般会計並びに特別会計決算に係る決算審査特別委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

以下、委員会におきます質疑応答等、整理いたしまして、その概要を報告申し上げます。

まず、一般会計歳出であります。第2款総務費であります。まず旧国鉄用地対策連絡協議会負担金について質疑がありました。連絡協議会については、旧国鉄用地の公共的な利用という面から発足し、内容としては、清算事業団が示す旧国鉄用地の一覧により、用地が市町村の事業と合致する場合に取得していく。また、総会の際に事例研究等の研修会等を行っているとの説明がありました。

また、千葉県JR線複線化等促進期成同盟負担金に関して、複線化の取り組みについて説明を求めましたところ、部分複線化の方向で今年度から進んでいるとの回答がありました。

次に、第3款民生費であります。館山市手をつなぐ親の会補助金に関して、同会の内容について質疑がありました。同会は精神薄弱児を持つ親たちにより組織され、相互協力、情報交換などを行っている。会員数は現在58名であるとの説明がありました。

また、国民年金に関して、若者の年金未加入者がふえていると聞くが、現状はどうかとの問いに対し、20歳台の対象者 217人中 127人が加入しているとの説明がありました。

なお、委員から、さらに積極的に加入促進を図るべきとの意見がありました。

次に、第4款衛生費であります。合併処理浄化槽設置事業について質疑

がありました。平成5年度については75基の設置をし、制度開始から通算で211基の設置をしているとの説明がありました。

また、環境施設センター周辺環境整備委託料に関して、排水についての質疑に対し、調整池により処理しているのは、地元との協定ではなく、排水路の設置が困難なためとの説明がありました。

なお、関連して、多目的運動場設置の際の排水について説明を求めましたところ、運動場の造成は現在の形状を変えるものではないため、山側の排水路による自然流下により排水できるとの回答がありました。

次に、南房総広域水道事業について質疑がありました。まず、進捗状況について、送水管は65%台の整備率であり、大多喜浄水場についても、沈殿池、ろ過池、管理棟などの躯体工事はほとんどが完了しているとの説明がありました。

次に、第6款農林水産業費であります。農家台帳データ作成委託料について内容の説明を求めましたところ、農地等の適正な情報管理のためにことしの3月に導入したもので、農地だけでなく、農業者年金などについての活用も考えているとの回答がありました。

また、農村青年グループ及び農業企画研究会の両育成事業補助金の相違について尋ねたところ、農村青年グループは旧4Hクラブによる団体で現在16名、農業企画研究会については40歳未満の農業後継者による団体で現在35名、それぞれ次代を担う農業者であるので、いろいろな交流等に対し助成しているとの説明がありました。

次に、農道整備事業委託料の翌年度繰越額 4,410万円について説明を求めました。同事業については、国の第3次補正予算により平成5年3月末に金額が確定したため、5年度中の完成が不可能であり、繰越明許をしたものである。なお、事業の対象は基盤整備事業を行った中の道路であることが条件となるとの回答がありました。

次に、漁業協同組合合併促進事業について状況説明を求めました。平成2年度から事業を実施し、5年度は各組合の財務調査を行った。県は当初3カ年計画での実施を目標としたが、県内で現在合併の完了したところはないと

の説明がありました。

委員から、各組合員の資格や財務の問題等あるようだが、漁業振興のために合併促進事業の進展を図りたいとの意見がありました。

次に、第7款商工費であります。館山工業団地関連用地境界標設置委託料についての質疑に対し、工業団地外域外の土地を市が取得したのに対して境界標を設置したもの。なお、区域内の境界については県の企業庁が設置する予定であるとの回答がありました。

さらに、土地の取得状況を求めましたところ、本年8月末現在で96%取得済みであり、残りは相続等による問題で残っている部分であるとの回答がありました。

次に、商店街にぎわい推進事業補助金について説明を求めましたところ、本事業は、商店街の活性化のため、街灯の電気料、街灯の軽微な修理等に対し助成するもので、県の補助事業として平成5年度から開始したものであるとの回答がありました。

次に、第8款土木費であります。道路用地購入費の翌年度繰越額 2,085万 2,000円について説明を求めました。繰り越し部分は工業団地進入路である市道8042号線に係るものであるが、地権者1名が死亡したために6年度に繰り越ししたものである。相続人と交渉を進め、今年度中に取得したいとの回答がありました。

また、ウェルネスリゾートパーク用地購入費について質疑がありました。まず、用地取得の進捗状況を尋ねたところ、8月末で43%であるとの回答がありました。

さらに、今後の見込みをただしたところ、基本的には協力的ではあるが、相続の問題等もあり、ある程度の時間が必要であるとの説明がありました。

次に、第9款消防費であります。消火栓新設等負担金についての質疑に対し、市水道及び三芳水道の拡張事業あるいは市からの要請により設置した消火栓の負担金として両水道事業体に支出しているとの説明がありました。

さらに、他の市町村では早く消火に当たれる地上式の消火栓に移行しているところがあるが、館山市はその考えはないかとの質疑に対し、交通事情、

設置場所、後の管理の問題から、当市は地下式を採用している。地上式に移行する考えはないとの回答がありました。

また、関連して委員から、消火栓器具箱の設置を進められたいとの要望がありました。

次に、第10款教育費であります、児童生徒の遠距離通学に係る補助金の支出について説明を求めましたところ、補助金については、統合により遠距離通学となった児童生徒に対し、バス料金の補助を行っているところであるとの説明がありました。

次に、一般会計歳入であります、市税の収納率は前年と比べてどうかとの質疑に対し、前年に比べて0.88%のマイナスとなっている。これについては、バブル崩壊による不景気及び冷夏の影響等厳しい状況にあるが、夜間臨戸徴収あるいは全庁的な職員の応援徴収等により努力しているところであるとの説明がありました。

委員から、今後とも一層の徴収に対する努力をするよう要望がありました。

また、財政調整基金繰入金に対し、基金の取り崩しについての質疑があり、財政調整基金は、財源がないときあるいは年度間の資金の運用等、それらの目的はいろいろあるが、現在市は上下水道、西口区画整理事業、ウェルネス等の大規模事業を抱え、財政調整基金を活用しなければ財源的に無理であるので、4億5,960万円を取り崩したとの説明がありました。

委員から関連して、提案説明の中で言われたように、地方団体の創造性、自立性を高め、積極的な施策の展開が可能となるよう、長期的な観点に立って地方財源の充実を図っていく必要があるとの意見がございました。

次に、水道事業特別会計であります、第3次拡張工事の進捗状況及び工事の完成見込みについて説明を求めましたところ、予定延長27キロメートル中、繰り越し分を含め、平成5年度末で41.8%が完成しており、国の補助金が予定どおり採択されれば、平成6年度において完成を予定しているとの説明がありました。

さらに、加入対象世帯をどのくらい見込んでいるのかとの質疑に対し、平成5年度末で加入対象の世帯は1,184世帯であり、加入世帯は348世帯とな

っているとの回答がありました。

以上が質疑応答等の概要であります。

採決の結果、付託を受けました認定第1号乃至認定第8号の一般会計及び特別会計決算については、全員一致をもってそれぞれ認定すべきものと決しました。

以上、特別委員会における審査の概要につきまして御報告申し上げまして、決算審査特別委員会委員長報告を終わります。ありがとうございました。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、認定第1号、一般会計決算について、起立により採決いたします。

本決算についての委員長の報告は認定であります。

本決算を委員長の報告どおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（辻田 実君） 起立多数であります。よって、本決算は認定することに決しました。

続いて、認定第2号乃至認定第8号の特別会計決算について、一括して採決いたします。

各特別会計決算についての委員長の報告は認定であります。

各特別会計決算を委員長の報告どおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本特別会計決算はいずれも認定することに決しました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第7、議案第40号人権擁護委員候補者の推薦についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（辻田 実君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第40号人権擁護委員候補者の推薦について、提案理由を御説明申し上げます。

平成6年9月30日をもちまして任期満了となります人権擁護委員1名につきまして、人権擁護委員法第6条第3項の規定により候補者の推薦を求められておりますので、引き続き錦織 茂さんを最適任者といたしまして御推薦申し上げたいと存じます。

御賛同賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結い

たします。

委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

市長のあいさつ

◎議長（辻田 実君） この際、市長から発言を求められております。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 9月定例会市議会の最終日に当たりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

この定例会市議会は、私の市長としましてのこの任期中の最後の定例会市議会

になるわけでございます。私は、平成2年12月に市長就任以来今日まで、活力ある文化福祉都市の実現に向け、常に市民の立場に立った市政を推進してまいりました。この間、市政各般にわたり議員の皆様方から温かい御指導と御協力を賜り、市政振興に御尽力をいただきましたことに対しまして、改めて心からお礼申し上げます。議員各位におかれましては、今後とも変わらぬ御指導と御協力をお願い申し上げ、この定例市議会の最終日に臨みましてのお礼のごあいさつといたします。

ありがとうございました。

閉 会 午前10時56分

◎議長（辻田 実君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第3回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第32号乃至議案第40号
- 1 認定第1号乃至認定第8号
- 1 請願第20号
- 1 継続審査について（請願第18号）

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会議員

館山市議会議員